

令和4年度 一人一台端末の効果的な活用に向けた取り組み

武生第二中学校

1. はじめに

GIGA スクール構想により生徒一人一台端末が整備され、昨年度から取り組みが始まった。今年度は2年目ということから、昨年の実践をさらに進め、より効果的な活用に向けて、授業においては「深い学びにつなげる」活用、校務支援では「より効率化をはかれる」利活用に取り組んだ。

2. 取り組みの概要

本校では、昨年度より組織として教務部の中に GIGA スクール担当を配置し、各学年および無担任の中からそれぞれ機器操作に長けた教員を集め、教務部の中に GIGA スクールチームをつくり、機器利用や環境整備について推進してきた。

その上で、教員に対する現職教育での研修会や授業研究会、外部の研修会への参加、他校や小中連携による情報交換等を行い、校内での情報共有を進めてきた。このような校内組織のもとで、今年度は以下の取り組みを行った。

- | | |
|-----|--|
| 5月 | ○相互授業参観週間
・各教科のグループで相互授業参観を行い、「タブレット端末の効果的な活用」について実践・検討を進めた。 |
| 6月 | ○市指導主事訪問
・「深い学びにつなげる」ための効果的な活用についての授業研究 |
| 7月 | ○小中合同研修会 GIGA スクール部会（本校3名、全12名）
・昨年度に引き続き校区内の小中学校で担当者が集まり、お互いの実践例の紹介や質疑応答し情報交換をした。 |
| 8月 | ○市学力向上研修会（本校より3名参加）
・一人一台端末を使用した授業実践報告会で本校の実践を紹介すると共に、他校の実践例を学んだ。 |
| 10月 | ○相互授業参観週間
・各教科のグループで相互授業参観を行い、「タブレット端末の効果的な活用」について実践・検討を進めた。
○生徒会役員選挙の投票・集計を Forms で行った。
○市指導主事訪問日の授業で一人一台端末を使用し、各教科で研究会を持った。 |
| 11月 | ○現職教育
・タブレット端末を活用した授業実践例を3名の若手教員が発表し、共有した。 |
| 2月 | ○相互授業参観週間
・各教科のグループで相互授業参観を行い、「タブレット端末の効果的な活用」について実践・検討を進めた。 |

3. 活用例について

(1) 授業での活用例

- 【数学】・グラフ作成ツールを活用し、いろいろな関数の式を入力し、短時間で数種類のグラフを表示させて、比較しながら特徴を見つける学習を効率的に進めた。
- 【理科】・「クラスルーム」を班で共有し、実験中の気付きや考察等をタブレット上に貼り付けながら議論することで話し合いを深めた。
- 【美術】・「人物画」「自画像」の授業で人体や顔のバランスを学習するため、タブレット端末で自分の写真を撮り、自分の顔や体のバランスを調べた。
- 【体育】・器械運動やダンスの授業で自分のグループの動作を撮影し合い、動作確認や分析に使用した。
- 【技術】・作業の手順等をそれぞれが動画で確認しながら進め、様子を写真や動画に撮り、まとめや振り返りに使った。
- 【共通】・ワークシートの配付・回収・添削等をタブレットで端末行うことで効率的に処理することができ、添削等の結果も迅速に配付できた。

(2) 校務での活用例

- ・職員朝礼での連絡や生徒への連絡を、TEAMS を使って行い、迅速かつ効率的に情報共有をした。
- ・アンケートや健康観察をタブレット端末で行い、紙の配付・回収や集計の手間が省けた。

4. 成果と課題

今年度は導入2年目ということもあり、教員も生徒もスムーズに使えるようになった。校内の現職教育や授業研究会等の中で、「深い学び」、「主体的な活動」、「対話的な活動」等につながるような、より効果的な活用法を模索し、スキルやノウハウを蓄積してきた。その中でタブレット端末を使った方が効果的な場合やそうでない場合もあることが見えてきた。本来の授業の目的を忘れずに、取捨選択していくことが重要であることもわかった。今後は、授業の中で生徒が使い方を選択する場面を増やし、教員も自分の授業スタイルに合った使い方を選択し、授業の質をより高めていく必要がある。また、校務やリモート配信などでの活用とあわせ、今年度末からは Home & School の導入により、さらに利用環境が整備され、業務の効率化も進み働き方改革の一助になった。

生徒指導面においても、常時タブレット端末を手にするこで、目的以外の使用や個人的な写真撮影によって新たな問題も起こる可能性があるため、使用上のルールの指導や情報モラル教育も継続し、徹底していかなければならない。